

## 計画策定に向けた委員の提言等について

### 1. ゲストスピーカーの提言について（報告）

各検討小委員会では、ゲストスピーカーを設け参考意見聴取した（下表参照）。

小委員会名	生活の安全と豊かな環境を目指す検討小委員会	自立的発展を目指す検討小委員会	活力ある経済社会を目指す検討小委員会
提言名	資源循環に基づく暮らしの再設計と自給圏域の設定～2020年問題を超えて～	自立した地域社会に向けて～顔の見える産業を考える～	活力ある経済社会を目指す九州圏がやるべきこと
提言日	平成19年5月9日	平成19年5月8日	平成19年4月27日
所属・提言者	島根県中山間地域研究センター 主任研究員 笠松 浩樹	松下生活研究所 代表 松下 修	ながさき地域政策研究所 常務理事 菊森 淳文
提言のポイント	・食料、エネルギーなどを持続的に供給でき、災害を及ぼさない開発を見極めた環境容量の中で生きる自給圏域の設定 ・自給圏域を核にした国のかたちを考える必要	・地域の資源を生かした暮らしを地域に根ざした活動によって構築しなければならない。 ・地域の課題、困りごとをベースに活動することや、その活動に対する支援も必要	・東アジア圏の経済成長と結びつきを生かした産業振興 ・圏域内連携・ネットワークづくりによる活力向上

ゲストスピーカーの提言については、九州圏広域地方計画ホームページの中の「計画づくりご意見箱」(<http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/cqi/index.html/>)で公開中である。また、中間レポート及びキックオフレポート案の作成において参照する予定である。

### 2. 検討小委員会委員の提言について（報告）

各検討小委員会の委員のうち19人の方々より、別添参考に基づき専門的視点より提言を頂く予定としている（平成19年6月20日〆切予定）。

寄せて頂いた提言については、提言集として冊子に取りまとめると共に、小委員会中間レポートの作成及びキックオフレポート案の作成において参照し、更に、ご意見として、ホームページ等でご紹介させて頂き、社会に問いかけていくことを想定している。

### 3. 学識者懇談会委員の提言について（お願い）

各委員において、専門的視点または計画全般に関する提言事項を寄稿頂ける場合は、事務局にご連絡を頂きたい。

( 参考 ) 各検討小委員会委員に対するお願いの内容

平成19年5月11日

( 検討小委員会 委員 ) 木 美

九州圏広域地方計画推進室 室長  
(九州地方整備局 副局長)  
上 村 裕 二

九州圏広域地方計画に対する提言について (お願い)

検討小委員各位におかれましては、常日頃より、九州圏広域地方計画プレ協議会において、ご指導を賜り誠にありがとうございます。

事務局では、ご指導に沿い、九州圏広域地方計画の策定に向けたキックオフレポートの作成に向けて、現在鋭意その準備作業を続けているところです。

「生活の安全と豊かな環境を目指す小委員会」、「自立的発展を目指す小委員会」、「活力ある経済社会を目指す小委員会」の3小委員会では、今後の九州圏の姿について熱心なご討議を頂いているところですが、小委員会の議論も2回目を経過し折り返し点を迎え、九州圏の現状と課題や方向性等の議論を頂き、まとめとして、キックオフレポートの具体的な記述に向けて、議論や意見等をまとめていく方向にあります。

キックオフレポートは、委員のご意見はもとより、プレ協議会委員各位のご意見、ご提言を踏まえ、それらの総体として作成されることとなります。このような作成方法でキックオフレポートをまとめました場合、総合的・網羅的なレポートになると思われます。一方、九州圏からの個性的で斬新な情報の発信という点では不十分なものとなる恐れがあります。また、委員各位のご意見も断片的となる側面があるものと考えます。

しかしながら、この機会において、委員をお引き受け頂いた各位の英知を十分に生かす方策を模索すべきと考え、委員各々の専門的な視点に基づく今後の九州圏のあり方についてのご提言をレポートの形でお纏め頂き、記録に残すことが意義ある方策となるものと思料します。このことは、学識者懇談会の矢田委員長ともご相談の上、今般のお願いをすることに致しました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、お願いの趣旨にご理解を賜り、別紙、別添をご一読頂き、ご寄稿頂ければ幸いです。

(1) お願い内容等について

委員各位において、委員ご自身の視点から、九州圏広域地方計画に関して、お考えになっている提言事項がありましたら、ご自由にご提言下さい。なお、提案・執筆を強制するものではありませんので、委員各位のご随意にお取り計らい下さい。

事務局として執筆テーマとして考えられる事項について別紙一覧で提案させていただきますので、参考にして下さい（なお、このテーマは事務局において勝手に記述したものであり失礼がありましたら平にご容赦下さい。）

提言事項については、必ずしも全部がキックオフレポートに充当されるものでなく、小委員会中間レポートの作成において参照するとともに、ご意見として、ホームページ等でご紹介させて頂き、社会に問いかけていくことを想定しております。

(2) 執筆について

分量については、6,500字（1頁あたり42文字×39行で全4頁）程度以内を想定しております（図表を含む。）

平成19年6月20日（水）12:00までに、電子データ等で送信頂ければ幸いです。（原稿のほかに、事務局に対してご提供頂けるデータや文献等がございましたら是非ともご送付ください。）

(3) その他

連絡問合せ先については、次のとおりです（小委員会毎に担当を設置しておりますので、連絡等がございましたら、各担当まで宜しくお願いします。）

生活の安全と豊かな環境を目指す小委員会 二口（[futakuchi-t8910@qsr.mlit.go.jp](mailto:futakuchi-t8910@qsr.mlit.go.jp)）

自立的発展を目指す小委員会 垣原（[kakihara-k2bf@qsr.mlit.go.jp](mailto:kakihara-k2bf@qsr.mlit.go.jp)）

活力ある経済社会を目指す小委員会 佐野（[sano-m8910@qsr.mlit.go.jp](mailto:sano-m8910@qsr.mlit.go.jp)）

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 東福第2ビル1階

九州圏広域地方計画推進室（九州圏広域地方計画プレ協議会 事務局）

直通電話 092（476）3552

( 苟文和尔田各 )

## テーマ一覧(案)

### ( 1 ) 生活の安全と豊かな環境を目指す小委員会

小松 利光	九州圏の水環境と水資源の今後のあり方について
磯 望	総合的な防災対策の九州圏におけるあり方について
大貝 知子	市民活動が形成する新たな社会の視点での九州圏広域地方計画
北村 良介	防災減災の視点から見た九州圏広域計画の策定について
佐藤 宣子	九州圏広域地方計画における森林資源の保全と活用について
島谷 幸宏	良好な景観の形成の視点からみた九州圏広域地方計画について
高山 隼人	九州圏の離島医療の今後のあり方と広域計画への反映について
外川 健一	九州圏における 3 R を通じた循環型社会の構築について

### ( 2 ) 自立的発展を目指す小委員会

井上 信昭	九州圏における高速交通体系の視点とあり方について
桑野 和泉	九州圏において温泉、観光を通じたまちづくりについて
徳野 貞雄	九州圏の中山間地域の再生について
出口 敦	コンパクトシティについて
宮廻 甫允	九州圏の半島振興の方向性について
横山 秀司	観光による地域づくりを九州圏広域地方計画で実現するために
脇田 安大	九州圏の離島振興の今後のあり方について

### ( 3 ) 活力ある経済社会を目指す小委員会

外井 哲志	九州圏における循環型交通体系について
青木 麗子	九州圏とアジア経済の関係強化について
鳥丸 聡	活力ある九州圏を作り出す産業振興施策について
根岸 裕孝	F T A が九州圏に与える経済的な影響と計画への反映について
深川 博史	九州圏の発展に向けた東アジアとの具体的な経済関係の構築について
星野 裕志	物流と九州圏の発展の方向性について
両角 光男	九州圏の発展のための都市計画・デザインについて
山中 守	九州圏における情報化政策のあり方について